

16 上高倉地区

この「内水ハザードマップ」は、住民の皆様がお住まいの地域で、短時間に大雨が降った場合に内水浸水が想定される範囲やその深さを示したものです。
 内水浸水とは、下水道や側溝などの排水能力を超えた場合に、雨水が道路や宅地などに溜まり発生する浸水のことをいいます。
 このマップを活用して自宅付近の状況や避難所を確認して、安全に避難できるように備えましょう。
 このマップは、想定される最大規模の降雨に伴う内水浸水の区域を示したもので、洪水(河川の破堤または越水)による氾濫等を考慮したものでないため、示されていない地域でも浸水が発生する場合があります。

お問い合わせ先：「常陸太田市 防災対策課」 TEL:0294-72-3111 (代表) FAX:0294-72-3002
 〒313-8611 茨城県常陸太田市金井町 3690 URL:https://www.city.hitachota.ibaraki.jp/ Email:info@city.hitachota.ibaraki.jp

防災情報の入手方法

- 市公式ホームページ 消防・防災のお知らせ
 【災害時】緊急情報／避難所開設状況／市道などの通行止め情報
 【防災情報】ハザードマップ各種／避難所情報など
- 常陸太田市行政情報アプリ じゃぶづるさんナビ
 防災情報／防災行政無線の放送内容

●防災行政無線
 災害情報や緊急のお知らせを放送。屋外スピーカーの他、屋内用「戸別受信機」で聞くことができます。

●テレフォンサービス
0294-72-8989
 放送を聞くことができなかった場合、過去の放送内容を聞くことができます。

●NHK総合テレビデータ放送
 地上デジタル放送(データ放送)で、気象情報・河川水位情報などをリアルタイムに確認できます。

●Yahoo! 防災アプリ
 茨城県では、『Yahoo!防災速報』を活用した災害関連情報の提供をしています。

●ラジオ LuckyFM茨城放送
 FM 94.6MHz (水戸局) 88.1MHz (日立局)

●リモコン操作方法
 dボタンを押す

●アドレス
<https://emg.yahoo.co.jp/>

気象情報や河川水位に関する情報収集

- 気象庁(国土交通省)
 防災情報/天気/キキクル(危険度分布:雨雲の動き、浸水、土砂、洪水)/新しい防災気象情報
- 川の防災情報(国土交通省)
 河川ことの水位/雨量情報/河川のライブ映像
- 常陸河川国道事務所
 河川情報/雨量情報/道路規制など
- 茨城県 防災・危機管理ポータルサイト
 県内で発令中の気象警報・注意報など
- 茨城県 土木部 雨量・河川水位情報
 県が設置する水位計の水位情報など

災害時に家族と連絡がとれない場合は…

災害伝言用ダイヤル
 災害時には電話が混雑し、家族と連絡が取れないことが多くあります。そんなときは「171」をダイヤルし、利用案内に従って伝言の録音・再生を行ってください。利用の開始や録音件数(最大10件)など、利用条件についてはNTTが決定し、テレビ・ラジオなどを通じてお知らせします。

災害伝言板(web171等)
 大規模災害等が発生したときに、携帯・スマホ・パソコン等を利用して伝言の登録・確認ができる伝言板です。

登録方法
 それぞれのアクセス先のメニューに従って入力を行ってください。

確認方法
 それぞれのアクセス先のメニューに従って確認を行ってください。

避難に関する情報

警戒レベル	住民がとるべき避難行動	避難情報(常陸太田市)	気象情報(気象庁)(警戒レベル相当情報)
5	命の危険 直ちに安全確保! 災害が発生又は切迫した状況であり、命を守るための最善の行動をとる。	緊急安全確保	・大雨特別警報 ・土砂災害特別警報 ・氾濫特別警報
4	危険な場所から全員避難! 直ちに身の安全を確保できる場所へ避難する。 ※土砂災害は立退き避難が原則です。 避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難する。	避難指示	・大雨危険警報 ・土砂災害危険警報 ・氾濫危険警報
3	危険な場所から高齢者等は避難! 避難に時間を要する人(高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は、避難場所へ避難を開始する。 -その他の人は、家族などと連絡、持ち出し品の用意など、避難の準備を開始。危険だと思ったら早めに避難する。	高齢者等避難	・大雨警報 ・土砂災害警報 ・氾濫警報
2	・避難に備え、ハザードマップ等により自らの避難行動を確認する。 ・避難情報の把握手段を確認する。	-	・大雨注意報 ・土砂災害注意報 ・氾濫注意報
1	・災害への心構えを高める。 ・防災気象情報等の最新情報に注意する。	-	早期注意情報

特別警報
 ・「特別警報」とは、警報の発表基準をはるかに超える大雨や、大津波等が予想され、重大な災害の起こるおそれが高く高まっている場合に発表し、最大級の警戒を呼びかけるものです。
 ・特別警報が発表された場合、お住まいの地域は数十年に一度の、これまでに経験したことのないような、重大な危険が差し迫った状況にあります。

土砂災害の種類

がけ崩れ 地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちる現象ががけ崩れです。突発的に起こり、瞬時に下り崩れ落ちるので、逃げ遅れる人も多く、被害が大きくなります。	土石流 谷や斜面に溜まった土や石、砂などが、大雨による水と一緒に一気に流れ出して発生します。破壊力が大きく、また流れる速度が速いため、大きな被害をもたらします。	地すべり 比較的緩やかな斜面において、地中の粘土層などのすべり難い面が地下水などの影響で、ゆっくりと動き出す現象です。一気に広範囲で発生するため、住宅や道路、鉄道などに大きな被害を及ぼします。
--	--	--

土砂災害の前兆現象

<ul style="list-style-type: none"> ・がけから水が噴き出す。 ・がけからの水が濁る。 ・小石がバラバラと落ちて、がけから木の根が切れるなどの音がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・山鳴りや立ち木の裂ける音が聞こえる。 ・石のぶつかり合う音が聞こえる。 ・雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。 ・川の水が急に濁ったり、流木が流れてくる。 ・泥臭いにおいが漂う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・山腹や地面にひび割れ・段差ができる。 ・沢や井戸の水が濁る。 ・斜面や地面から水が噴き出す。 ・建物や電柱、樹木が傾く。 ・井戸や野池の水かさが急激に変わる。
---	---	--

避難時の心得

- TV・ラジオ・インターネットなどで最新の気象情報、避難情報などの災害情報入手しながら、雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら早めに避難しましょう。
- 防災行政無線などからの避難の呼びかけに注意しましょう。
- 非常時持ち出し品と一緒にハザードマップを持って避難しましょう。
- 裏面の危険箇所や浸水箇所を確認し、安全なルートで避難しましょう。
- 避難する前に、電気・ガスなどの火元を止め、避難所をもう一度確認しましょう。
- 隣近所に声を掛け合い、なるべく集団で避難しましょう。また、高齢者、子供、病人、障がいのある人等の避難に協力しましょう。
- 車で避難は、歩行者・緊急車両の妨げになるので、できる限り徒歩で避難しましょう。
- 避難経路はできるだけ高い道路を選び、浸水箇所があった場合は、溝や水路に注意しながら避難しましょう。
- 避難が遅れたときは近くの丈夫な建物の浸水が及ばない階に逃げましょう(垂直避難)。

指定緊急避難場所・避難所一覧

水府ふるさとセンター	天下野町 1629
高倉地域交流センター	下高倉町 1
旧小里小学校	小中町 202

指定緊急避難場所: 緑の建物
 指定避難所: 赤い建物

家庭でやっておきましょう

浸水対策

- 側溝や雨水ますをふさがないようにしましょう。
- 雨水ますの吸い込み口が落ち葉やごみで詰まると、道路浸水などの原因になります。普段から清掃しておきましょう。
- 雨水ますやL型側溝の上に車乗り入れブロックなどを置かないようにしましょう。

浸水に備えよう

- 家にあるもので浸水を防ぎましょう。土のうやプランター、家庭にあるごみ袋などを利用した水のうなどを使って浸水を防ぐことができます。
- 大雨の際には、洗濯機、トイレ、風呂場の排水口など思わぬところから下水が逆流することがあります。排水口を水のうなどでふさぎましょう。

家庭でできる浸水防止対策の一例

- ごみ袋(45リットル)を二重にし、中に半分くらい水を入れ、水のうを作ります。
- 水のうは段ボール箱に詰めることで、強度が増します。
- 水のうと長めの板などを組み合わせて、浸水を防ぎます。
- プランターをならべ、レジャーシートで包み浸水を防ぎます。

ハザードマップで自宅と避難場所を確認しよう

- 自宅付近が浸水したときにどのくらいの水深になるかを確認しましょう。
- 自宅から避難場所までの複数の道順や方向を、ハザードマップに書き込みましょう。

浸水継続時間が長い区域

浸水が長時間継続する地域にお住まいの方は自宅に留まらず、早めの立ち退き避難を!

観測所

水位観測所	亀ヶ瀬	電神川
河川カメラ	坏下坪橋	山田川
	電神橋	電神川
	電神ダム	
雨量観測所	持方	
	小中	
	電神ダム	

凡例

指定緊急避難場所	指定避難所
対象地区	
水位・雨量観測所等	
雨量観測所	
河川カメラ	
鉄道・幹線道路	
一般国道	主要地方道
その他施設	
警察署・交番・駐在所	

浸水継続時間

- 浸水深50cm以上がおおむね24時間以上継続する区域

【雨と風(雨と風の階級表)】(気象庁)を加工して作成